

プライマリケアと救急を中心とした総合誌

# レジデントノート

レジデントノート  
毎月1回1日発行  
第11巻第3号 2009年6月1日発行  
1999年6月16日第三種郵便物認可  
ISSN 1344-6746

2009 JUN  
**6** 月号  
Vol.11-No.3

● 特集 ●

## 胸部X線で ここまで読める!

救急で役立つ読影のしかたと異常を見分けるコツ

胸部単純X線写真の基本的な読み方 for beginners/ICUポータブル写真の注意点とARDS/肺炎と肺水腫/胸痛:大動脈解離, 肺塞栓症など/気胸・縦隔気腫/小児救急疾患/胸部外傷

倉本憲明/編

新連載

総合内科はおもしろい!

問題解決型! 身体診察のコツ

個人回診・管理回診

Step Beyond Resident

便秘 Part2

つまずき症例から学ぶ 軽症外傷



携帯用メルマガ  
のご登録



羊土社 <http://www.yodosha.co.jp/rnote/>

なるほどわかった!

## 日常診療のズバリ基本講座 Part 2

このコーナーでは臨床研修で必要な日常診療のきほんの“き”について、先輩医師が解説します!

### その18

# 患者さんの問題点を見極めよう!

Gから始まるABC!

浜田久之

## 研修医の皆さんへ

“患者さんの問題点を的確にあげなさい!” “君が何を言いたいかわからない。まずは、プロブレムリスト作って、持ってきたさい!” と、カンファランス、回診で怒られるあなた、“そのことは、今重要じゃないでしょう。ところで、\*\*についてチェックしてみた?” “あっ…すみません、全然考えていませんでした” と、いつも“うっかり”のあなた、がっかりすることはありません! 問題点の整理のしかたを工夫すれば大丈夫。

本稿では患者さんの問題点をどのように抽出し、整理していくのかについて解説します。

### ● 問題点の問題点



日常の診療で、問題点を抽出したり、プロブレムリストを作ったりする作業は、医師であり続けるためには、これから一生行わなければなりません。それをうまくできるかどうかは、仕事の能率、治療の選択・結果やあなたの評価にかかわってくる大事な作業です。

そして、何よりも、現在の診療方式は、POS (problem oriented system) に代表されるように“問題点をあげることができる”ということが前提となっています。EBM (evidence based medicine) にしても同様で、最初のステップは目の前の患者さんがもつ問題の定型化です。教育ではPBL (problem-based learning) が重要視されています。つまり、患者さんの問題点を見つけないと現代医療のすべてが始まらないのです。

しかし、自分があげた問題点が、本当に今の病態の問題点であるのか? 患者さんが問題とする点と患者さんの病態の問題点が一致するのか? 指導医間でも問題点のとらえ方に相違がある? 問題点の抽出のしかたなんて人それぞれ? そもそも、問題点の定義って何よ? …など疑問に感じる方も多いでしょう。

問題点の問題点は、尽きませんが、ここでは整理に役立つ1つの考え方を紹介します。話を先にすすめましょう!